

# けんこうニュース

発行所

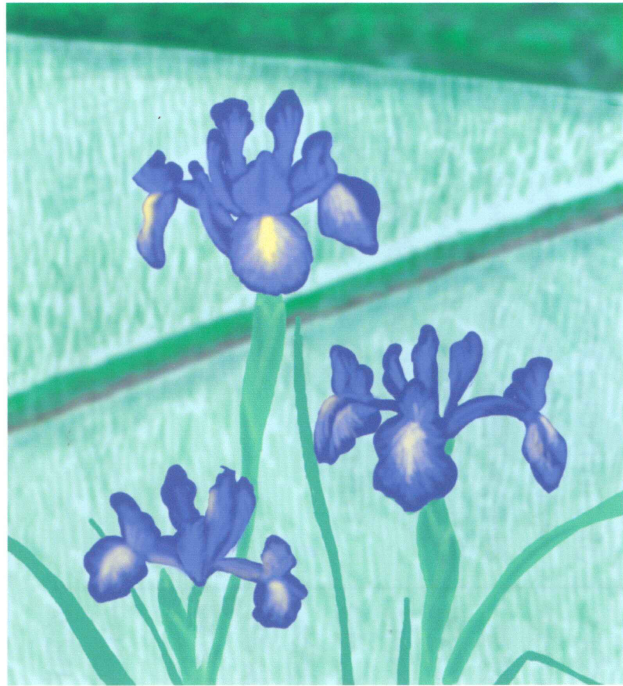
## 奥津医院

南足柄市生駒381  
電話 0465-74-0024  
発行人 奥津紀一

院長を中心に  
医師会訪問看護ステーション  
設立準備すすむ



平成十二年度より介護保健制度がスタートしますが、そのなかで、在宅医療を行うためには、訪問看護ステーションが大事な役割を果たします。病院で看護婦さんがやっている仕事を自分の家で療養している患者さんのためにする人が訪問看護婦さんですが、その看護婦さん達の詰め所を訪問看護ステーションといいます。



直道 画

これだけではこの地区全体をカバーすることはできません。そこで足柄上医師会が足柄上郡五町を対象として医師会立の訪問看護ステーションを設立することにしました。当院長が、その設立準備委員長となり準備をすすめています。さいわい南足柄市訪問看護ステーションの応援をいただき、必要なスタッフをほぼそろえることができました。このステーションが発足し、十分活動を始めればこの地区のすべての在宅患者さんに対して、訪問看護サービスが行えるようになります。

市川さん宅でホームコンサート  
アルフォンソ・正田さん

正田さんによる市川さん宅でのホームコンサートが四月二十四日開催されました。院長夫妻も参加させていただきました。

雨降り、外では選挙戦という中でしたが、これも自然の物音と考えれば気にすることはないうというお話もあり、いつものように打ちとけた音楽会を楽しむことができました。

アルフォンソ・正田さんは若い頃から南米の高地を旅し、土地に密着したフォルクロレを学び、それを私たちに紹介してくれています。毎年サントリーホールでリサイタルを開くとい

### 奥津医院の紹介 ホスピタウン誌に掲載

当院ホームページを見たという事で「ホスピタウン誌」より取材がありましたので応じたところ、五月号のこの病気はこの専門医パート1消化器の病気に掲載されました。

全国の専門の病気や診療所に混じって載っておりますので面はゆい感じですが、「早期に

うだけあつてすばらしい唄とギター演奏を聴かせてくれました。最後に「花まつり」の唄で盛り上がり、まったく話すことのできない市川さんも、かなり大きな声を出して唄に合わせていました。これで四回目になります。これも感動させられるホームコンサートでした。



### 湧言飛語



音楽の力

院長

ホームコンサートで紹介した市川さんが病院から退院された時には、食事は鼻からのチューブでとり、尿は膀胱からのカテーテルでとっていました。

自宅での療養になると本人や家族の努力でチューブやカテーテルが必要なくなりました。大きな進歩と喜びでしたが、目ばたきと文字板で「し・に・た・い」などと言うこともありました。

この頃、友人のお骨折りで、アルフォンソ・正田さんがきてコンサートを開いてくれるようになりました。音楽会での感動を共にできたのが良かったのか、市川さんと周囲の人達の心の交流が非常に良くなりました。

気楽に検査を受けてほしい」という院長の方針がよく紹介されています。ご一読下さい。



今回のコンサートでは市川さんは最初から着替えをし、ずっと車イスに座ったまま楽しんでいました。最後に正田さんが一緒に唄いましょうと声をかけるとありつたけの声を出して音楽に合わせていました。音楽の力に驚いております。